

# 3月 ほけんだより

こども園めばえ  
令和 4年3月

戸外遊びやお散歩が心地よい季節になりました。  
子どもたちはこの1年で、見違えるほど大きくたくましくなりました。  
これからもそれぞれのペースで、成長していく姿を見守っていきます。

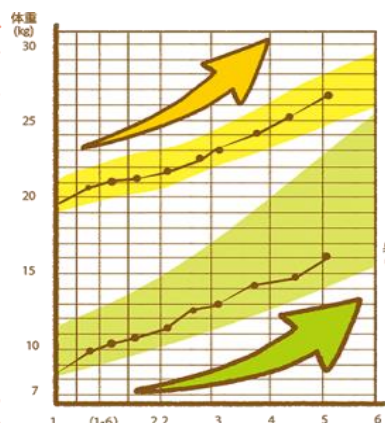
## 母子健康手帳 定期的に見直してみませんか？

母子健康手帳は、お母さんの妊娠から出産、そしてお子さんの出生から小学校入学までの健康を記録するものです。

お母さんとお子さんの健康を切れ目なくサポートするための大切な記録です。

### お子さんの成長、「見える化」しましょう

園では毎月、子どもたちの身長と体重を計測しています。  
ぜひ、母子健康手帳などの身体発達曲線(成長曲線)に記入して、成長を「見える化」しましょう。



### グラフのカーブが大事

数字では増えているかどうかはわかりませんが、グラフにすると、成長曲線に沿って、順調に増えているかが見えてきます。

少し小さめでも、伸びの度合いに沿って育っているなら問題ありません。

### 点にこだわらない

計測値を記入すると、つい「同年代の子どもに比べて大きいか、小さいか」に注目しがちですが、大切なのは経過です。お子さんの成長カーブが成長曲線のカーブと合っているかを確認しましょう。

### 心配なときは

まずは食事のバランスや生活リズムなどをチェックしましょう。生活改善に取り組んでも改善しない時は、かかりつけ医に相談しましょう。



身長が高い・低い個性！  
伸びるのが早い子も遅い子もいます。  
身長と体重のバランスが大切です。



### 保管場所を決めていますか？

母子健康手帳は、小学生になると使う機会が少なくなりますが、お子さんにとっては大切な「健康の履歴書」です。

将来、留学や仕事などで予防接種の接種歴を見るなど、必要な場面があります。

家庭でも置き場所を決め、大切に保管しておきましょう。

# — 登降園時の交通安全 —

## 子どもから目を離さないで！

交通事故は、保護者が近くにいる時にも起こります。散歩や買い物、登降園時は常に手をつなぎ、子どもが保護者から離れて歩くことがないようにしましょう。

## 交通事故を防ぐために心がけたいこと

- ① 普段から交通ルールを教えましょう。
- ② 大人も守りましょう。
- ③ 事故を招かない工夫をプラス！

## 子どもに教えること



- ① 歩く場所
  - ・歩道または路側帯を歩く
  - ・道路の右側を歩く
- ② 道路の横断の仕方
  - ・信号の赤・青・黄の意味
  - ・信号機のない交差点の渡り方
- ③ 標識の見方
  - ・よく目にする標識や表示の意味
- ④ やってはいけないこと
  - ・道路への飛び出し
  - ・道路での遊び
  - ・車のすぐ前や後ろの横断

## 車に乗せるときは

### 少しの時間でもチャイルドシートに座いましょう！

6歳未満の子どもにはチャイルドシートの使用が義務付けられています。

車に後部座席で使用し、チャイルドロックをかけたり、窓の開閉時には必ず声をかけたりしましょう。

また、短時間でも子どもを車内に残したままにしたり、親が降りる前に子どもを先に降ろすことも大変危険です。

## …チャイルドシートは…

乳児用  
身長 70 cm以下  
体重 13kg 未満



幼児用  
65~100 cm  
9~18kg



学童用  
135 cm以下  
15~36kg



## こども園めばえ ヒヤリハット！1年間のまとめ

令和3年度の怪我等を見ると、ロッカーで殴打し出血したり、家庭での骨折等がありましたが、どれも大事に至らずに済み、無事1年間過ごすことができました。

ヒヤリハットの事例は1年間で44例の報告がありました。

一番多いのが噛みつき、次に打撲でした。どの年齢でも噛みつきが見られ、友だちとのトラブルで上手く言葉で伝えられなかったり、自分の思い通りにならない時に、噛みつきが見られるようです。お部屋の中で、活動中や夕方・給食前など、ちょっと保育者が目を離したときに発生しているようなので、いつでも子どもから目を離さず、叱責の時にすぐに動けるようにしなければなりませんと反省します。

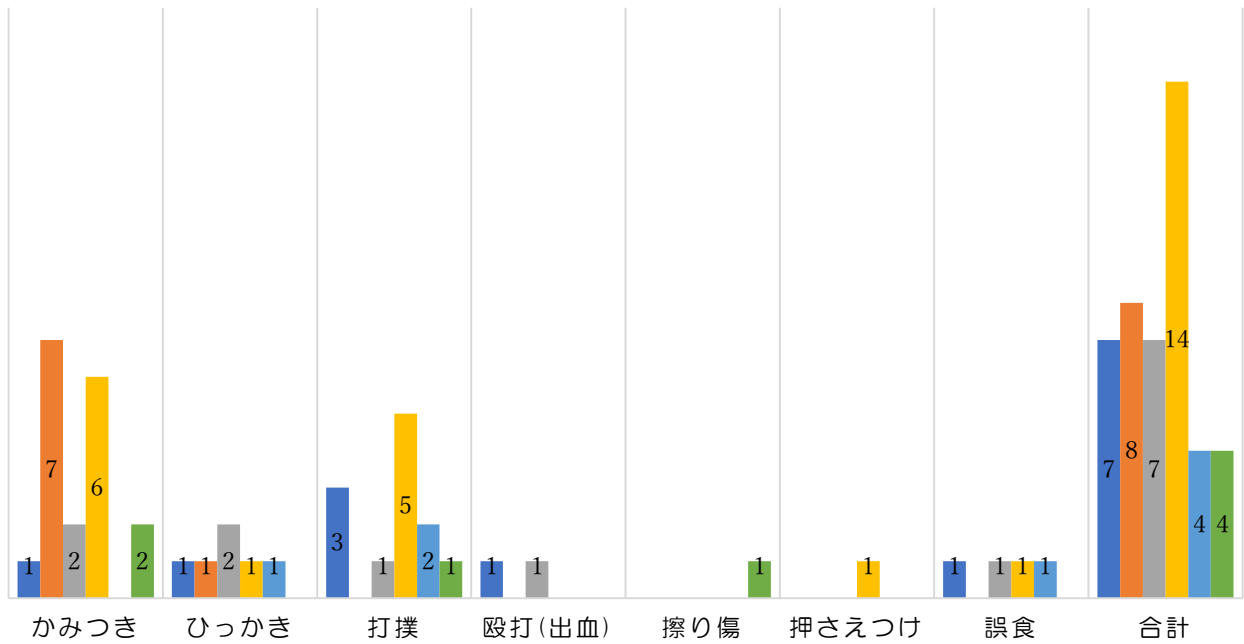
保護者の皆様には、ご不安やご心配をおかけすることもございますが、未然に防ぎ、怪我が少しでも減るように努力致したいと思っております。

また、子どもたちにも安全に過ごせるよう、危ない場所やしてはいけない行動など、日々伝えていきたいと思っております。ご家庭でも機会あるごとにお話しして頂けたらと思っております。

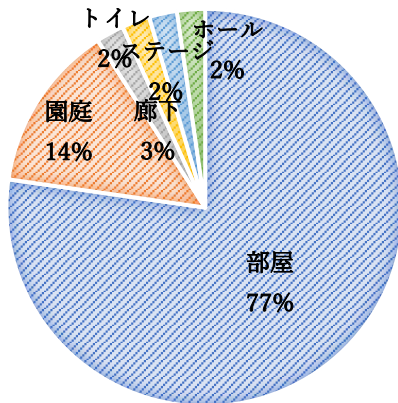
※ヒヤリハットの詳細を下記の通りグラフで表しています。ご覧下さい。

### 年齢別症状

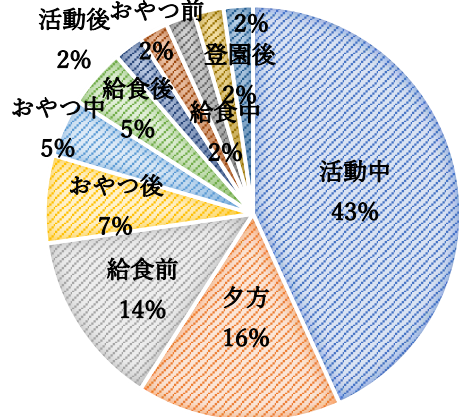
■ 0歳児 ■ 1歳児 ■ 2歳児 ■ 3歳児 ■ 4歳児 ■ 5歳児



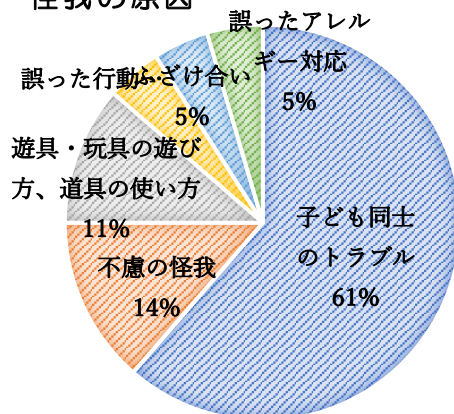
### 発生場所



### 発生時間



### 怪我の原因



### 怪我の部位

